

1月の生活表

2025年 1月

聖マリア幼稚園

年主題：さあ、漕ぎだそう 奏でよう

月主題：＜3歳児＞：じっくりと （4・5歳児＞：かさねる 保育日数（17日/18日）

月目標（3歳児）

- ・自分が大切にされていると感じ、神さまに愛され守られていることに気づく
- ・友だちと真似をし合いながら遊ぶことを楽しむ
- ・冬の自然の中で体を動かすことの楽しさやおもしろさを味わう

月目標（4・5歳児）

- ・クリスマスに与えられた喜びを引き続き感じながら、聖書の物語に親しむ
- ・今まで楽しんできた新たな経験を重ね、遊びを広げる
- ・冬の不思議やおもしろさに気づき、友だちと調べたり試したりする

2025年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては良き新年をお迎えになられたことと思います。今年巳年。ご家庭の中で年男・年女の方はおられますでしょうか？子どもたちは西暦・和暦・干支などその年を表す様々なことに触れなければなりませんね。

「年賀状じまい」が広がる中、幼稚園としても2学期始業のお葉書は取りやめさせて頂き、始園式（入園式）・年賀状のみとさせて頂くことに致しました。多くの幼稚園では園児に年賀状を出していないところもあります。今はメールやライン等でのご挨拶も増えてきているから尚のことでしょう。しかし、子どもたちが目に触れるものとして「成長」の印や「時」が感じられる大切なこととして続けたいと考えています。子ども自身のみではなくご家族の方にとっても大きな人生の節目を感じ、成長を感じ、祝いの時を持ってほしいと願います。

さて、この1年のそれぞれの抱負はいかがでしょうか。私たちは子どもたちの健やかな成長を願うこと、それは、何よりも一人ずつに寄り添い、個々の状況を把握することにあるでしょう。クリスマスページェントでどのクラスの子もたちが見せてくれたそれぞれの姿を思い起こすと、1年の初めであり、年度の締め括りでもあるこの3学期は、次への新しいステップアップになること間違いなしです。2学期のクリスマスの体験が自信となって、きっと新たな経験へと伸びていくことでしょう。集中力・責任感・根気力・挑戦力・等々、それぞれの学年で体験したそれぞれの努力は、心の成長と共に次の学年へと繋がっていくはずですが、しかし、子どもたちの日々の活動を通しての心の成長は、必ずしも上手くいくことのみではありませんね。保護者の方にとっても、「どうしてこんなに言うことを聞かないのか」「どうしてこんなにぐずぐずしているのか」など思い悩まれることも大いにあるでしょう。でも、その時の子どもの内面は「何か」を訴えているはずですが。家庭と幼稚園で思い返しながらお子さんの心に触れていきたいと思えます。「お友だちと仲良くしなさい」だけでは前に進みませんね。子どもたちの努力を認め、信じ、葛藤に添い、そして、今回の窓の装飾（季節ごとに変化しているのをご存知ですか？）とてもかわいい「だるまさん」。七転び八起きできるだるまさんのように「失敗しても大丈夫」の言葉を添えて、励ましていきたいと思えます。今年（最終学期）もどうぞよろしく願いいたします。

《チャプレンコーナー》

年主題：さあ、漕ぎだそう 奏でよう

年聖句：1月月間主題：かさねる

月聖句：受けるよりは与える方が幸いである。（使徒言行録 20：35）

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

齢をとると、どんどん時間が早く過ぎるように感じます。つい先日、クリスマス祝ったばかりのように思ってしまう。子どもたちはすっかり気分も一新しているでしょうが、それでも心のどこかにクリスマスの喜びが残っているでしょう。クリスマスに、私たちは、神様からたくさんのお恵みをいただいたことを心に覚えました。これからは、いただいたお恵みを、どのようにして自分の生活の中で表していくか、が大切になるのかもしれない。

教会では「お捧げする」ことを大切にしてきました。献金もそうですし、様々な慈善活動もそうです。自分の時間と力を誰かのためにお捧げするのがボランティアです。古代の教会では、悪いことをしてしまった信徒への罰として、「献金の停止」というものがあつたのだそうです。「お捧げすること」は、しなければならない「義務」ではなく、することが許された「お恵み」と考えていたのです。喜びをもって、献金したいと思います。

本日の聖書の箇所には、続きがあります。これは、パウロという偉大な宣教者が信徒に向かって言った言葉です。「主イエスご自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、私はいつも身をもって示してきました。」この教えは、言葉で伝えるよりも、行動をもって伝えるべきもののようです。

今の世界は、力を持った大人たちが、自分の欲望に従って、隣人からいろんなものを奪おうとしているように見えます。このような状態が正しいはずがありません。奪うのではなく分かち合うことを、受けるよりも与えることを大切にする世界を、大人が作っていかなければなりません。

おたんじょうび おめでとうございます

<生活指導>

☆自然の移り変わりに目を留めてみましょう。

- ・風の冷たさ、音、樹々の変化（裸ん坊になりましたね）、山の色の变化、空の色
登降園途中の様々な発見を大切に、冬の訪れを感じてみましょう。

☆自分で出来る事は自分でやってみましょう。

- ・上着を着る機会が多くなります。ジャンパーのボタンやファスナーが自分で出来るように練習してみましょう。
- ・自分の持ち物は自分で整理整頓しましょう。ご家庭でも脱いだあとの服の始末（たたむ・フックに掛ける・ハンガーにかける等）、鞆も一定の場所へ・・・
- ・どのクラスの子どもたちも、上着を着たままで保育室へ。花組でも畳めるようになっていきます。
- ・水道栓をしっかりと止める（指先の力・握力そして、確認作業等が必要です）
- ・気づく：落ちているゴミをゴミ箱に、落ちているお友だちの物を拾ってあげる、トイレのスリッパを揃える、困っている人を助けてあげるetc.

☆健康管理に留意しましょう。

- ・インフルエンザ・手足口病・コロナ・嘔吐下痢などへの対策を十二分にしましょう。3学期も油断大敵です。
- ・帰宅後の手洗い（お水は冷たいけれど、指の間・手の平と甲・手首など）をしっかりと洗いましょう。そして必ずうがいもしましょう。
- ・マスクはお子さん、場に合わせて着用してみましょう。
- ・暖房器具の扱いを的確にしましょう。（まめな換気と乾燥を防いで・・・）
- ・子ども達の肌の感覚を養いましょう。（寒布摩擦もいいですね）

[クラスだより]

<花組>

2025年を迎えました。明けましておめでとうございます。少し照れくさそうにはにかんだ表情で新年のご挨拶をしてくれた子どもたち。元気な姿が幼稚園に戻ってきました。冬休みの余韻も残しつつ、朝のご準備を思い出しながらしっかりとご自分で支度を済ませる子どもたち、いよいよ、三学期のスタートです！赤組・花組への進級を見

据えながら、2024年度花組は、pre-preクラスより2名のお友だちが進級してこられて、三学期より22名となりました！何とも賑やかで保育室のボックスもズラリと並んだ様子は大変嬉しいです。ボックスの配置も少し模様替えして、優しく小花ちゃんのお手伝いをしてくれる大きな花組の子どもたちにチラリと赤組さんへの一步を感じています。この22名と一緒に過ごす幼稚園生活（通園する日）は残り僅か45日です。一日一日を大切に歩んでゆきたいと思います。

アドヴェントカレンダーに綺麗に色塗りをしてとても嬉しそうに見せてくれた子どもたち、毎日どんなお約束・お手伝いをしたのかを書き込んでもらったお友だち、あんまり色が塗れなかったの・・・と正直にお話してくれるお友だち、頑張って一気に塗ったよ～！（これまた正直！）等々、次のアドヴェントカレンダーを貰う時にはどんなに成長しているのでしょうか。世界は、子どもたちを取り巻く社会は、どの様な状態にあるのでしょうか。未来を思う時、子どもたちの成長を想像すると、その未来がとても楽しみで、希望に満ちていると思います。いや、希望に満ちていて欲しいと切に願います。

三学期は本当にあっという間です。私たちは目の前にいる子どもたちの安全で健全な毎日をまず守ることを第一に考えたいと思います。特に、子どもたちの健康管理の面では、ご家庭と密に連絡・連携を取らせて頂きたいと思いますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

<赤組>

新年明けましておめでとうございます。また新しい年を迎えられたことに感謝して、心構えも新たに一年のスタートを切りたいと思います。

さて、1・2学期を共に歩んできた赤組の子どもたち、次は幼稚園で一番大きいお兄さんお姉さんとなり、常に前に立ってリードする「緑組」に。それを意識し進級への準備をする3学期となります。「次は緑組だよ」とプレッシャーをかけることなく、まずは、一番近くにいてくれる緑組さんに目を向けて、カッコいい姿をよく観察し、存在に気がつけるように。また、一緒にたくさん遊んで憧れをもち、「緑組になるんだ！」という喜びと期待をもつことが出来ると嬉しいと思います。その準備として、色々な「見習い」もスタートしていく予定です。一つひとつ丁寧に伝えながら準備をしていきたいと思います。さらに来年度の合同保育を共にする花組さんにも目を向けながら、自身の感情を豊かにし、言葉を介して伝え合い、共に歩んでいきたいと思います。残り少ない赤組の一日一日を大切にしながらじっくり関わっていきたくて考えています。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

<緑組>

新年明けましておめでとうございます。

いよいよ3学期がはじまりました。卒園式までの保育日数は50日不足...。12人で過ごす毎日のカウントダウンも同時にスタート。今年度は、数年ぶりに念願の錦林小学校との幼小連携が復活し、2月末にはお招きいただくことになっています（詳細は改めてお

知らせ致します)。年末に小学校から連絡を頂き、緑組の子どもたちに「1年生に聞きたいこと(質問)」をまとめておいて欲しいと依頼を受けました。緑組の子どもたちには、「朋子先生の宿題ではなく、錦林小学校の1年生からの宿題だから忘れないでね」のお願いでしたが...』幼稚園の子どもからの声を聞くことで、1年生も目的を明確にして連携に繋げることができるので...と双方の子どもたちに配慮して、この機会を準備することになっています。「小学校に行く」という、具体的なイメージが広がり、就学への心の準備にもなると期待しています。また、緑組の子どもたちに「1年生になるということは？」と少々難度の高い質問を投げかけました。「ちゃんとすることです」「準備することです」と苦心の末導いた答えが子どもたちからはかえってきました。ただ大事なことは「何を...」なのです。そして改めて「いつも言われていること(注意)なあに？」と質問を変えてみると。「食事の行儀、箸の持ち方」「挨拶/返事」「お手伝い」「兄弟ケンカ」「整理整頓/片付け」「早寝/早起き」...と生活習慣に関して、ご家庭でもお声掛けされていることが具体的にみえてきました。「1年生になるということ」は、いつも言われていることを気に留められるようになる。ひいては出来るようになっていくということです。幼稚園と大きく異なるのは、こうした生活習慣において手厚い援助が難しいということです。残された日数の中で、子どもたちと共に、気を引き締めながら、今をしっかりと楽しむことがこれからの礎を築いていくことと思います！さあ！泣いても笑っても...2ヶ月ちょっと。どうぞ、毎月のようにイベントが盛りだくさんの3学期をお子さまとご一緒にお楽しみくださいませ。

S今学期もよろしくお願い致します。